

「びわ湖とマイクロプラスチックについて考えよう！」

(9月17日)の活動報告

9/17(日)に「びわ湖とマイクロプラスチックについて考えよう！」で滋賀県大津市まで行ってきました。参加者はこども11人、保護者2人、サポーター8人、事務局2人の計23人でした。

久しぶりのお出かけ企画で、海だけでなくびわ湖にもマイクロプラスチックがあるのか、大津で環境活動しているRキッズのこどもたちと一緒に調査しました。遊泳場の一見きれいな砂浜でゴミもあまり落ちていないところでしたが、砂をふるいにかけて水に浮く小さなプラスチックのかけらが見つかりました。

木戸市民センターで顕微鏡を使ってかけらをさらに観察したあと、滋賀県立大学のお兄さんたちからプラスチックのお話や被覆肥料のプラスチックカプセルの問題について話を伺いました。肥料のカプセルは想像していたより小さく、砂粒と見間違えるくらいの大きさで水に浮くので、知らず知らず川や海へと広がっていくと考えられ、何とかしなくてはいけないなあと思いました。

午後からは、私設の小さな水族館「びわこベース」の見学。ナガレヒキガエルやシマヘビを触らせてもらったり、生き物愛にあふれた飼育員さんたちからお話してもらったりして楽しみました。朝渋滞に巻き込まれ、大津のこどもたちとの交流時間が少し減ったのは残念でしたが、充実した一日でした。

